



厚真 9月号 放課後児童クラブだより ~たくさんの思い出がつまった夏休み~

今回の放課後児童クラブだよりでは、夏休み中の行事について特集を組んで紹介しようと思います。

大盛況だった夏祭り!

7月29日(金)に厚真放課後児童クラブの夏祭りを実施しました。この日に向けて、『何をやるのか』『どんな飾りつけが必要か』『食べ物は何を作ろうか』など、子どもたちが一生懸命考えて準備をしてきたこのイベント。当日の朝、会場を見てみると、体育館が色とりどりの装飾で彩られ、手作りのポスターやユニークなアイデアが詰まったお店の屋台が並んでおり、圧巻でした!

今年の夏祭りは、『なんでも披露店』『金魚すくい』『スーパーボールすくい』『射的』『輪投げ』『宝箱』『お化け屋敷』(※お化け屋敷の写真が暗くて紹介できないのがとても残念)などの他に、フライドポテト、焼きそば、枝豆などたくさんの食べ物の屋台が並び、子どもたちはそれぞれの担当に分かれて、お店当番をやり



ながら、楽しみました。

今年の夏祭りで人気があったのは、初めての試みである『お化け屋敷』でした。高学年の勉強部屋を改造して作り上げたお化け屋敷は、行列ができるほどの人気で、「怖かったー!」「おもしろかった、もう一回入りたい!」という感想をたくさん聞くことができました。クオリティの高いお化け屋敷に子どもたちも大満足の様子でした。

『なんでも披露店』では、その名のとおり、『なにか披露したいことを披露する』というコーナーです。ピアノを弾いたり、歌を歌ったり、鍵盤ハーモニカやけん玉を披露したりと、大盛り上がりのコーナーでした。自分の得意なことを一生懸命練習をして、みんなの前で発表する姿にとっても感心しました。

最後はみんなで『スイカ割り』をしました。抽選会で挑戦できる子どもが選ばれ、みんなの声援を力にしてスイカ割りに挑戦します。「もっと右だよ!」「力いっぱいやれー!」など、一体感が生まれ、夏祭りの最後を締めくくる良い企画だったなと思います。

一生懸命準備を進めてきた子どもたちは、また一つ成長できたと思います。来年の夏祭りはどうなるのか…今からとても楽しみです。





たくさん笑った人形劇

8月1日(水)には、札幌から人形劇団ブランコさんをお招きして、腹話術と人形劇を観覧しました。今回は、上厚真放課後児童クラブの子どもたちも厚真児童会館に集まり、約80名が参加するイベントになりました。

今回は、腹話術『あっちゃんとおそぼう』と人形劇『山姥と小僧さん』という2つの演目を楽しみました。腹話術『あっちゃんとおそぼう』では、人形との掛け合いが絶妙で、会場は笑いの渦に包まれました。おなかを抱えて笑う子や笑いすぎて涙を流す子もいて、職人の技を楽しみました。

その後は、人形劇『山姥と小僧さん』を観覧しました。このお話は、和尚さんと小僧さんと山姥のお話で、悪いことをした小僧さんが山姥に追い掛け回されてしまうというお話です。(※詳しくは書けませんが…)いろいろな大きさの人形が登場したり、効果音や照明などが場面ごとに切り替わったり、本格的な人形劇に子どもたちは真剣な表情で見入っていました。なかなか見ることでできないプロの技に感動した1日になりました。



低学年料理教室をやりました！

8月7日(火)には、総合ケアセンターゆくりで1、2年生を対象にした料理教室を実施しました。今回も厚真町食生活改善推進協議会の皆さんの協力のもと、ナン、キーマカレー、スイカのフルーツポンチを作りました。普段はなかなか作ることのないナンですが、みんなで一生懸命小麦粉をこねて焼き上げ、ふっくらおいしく完成しました。自分たちで作った料理はより一層おいしく感じるようで、みんなお腹いっぱいになるまで食べました。この経験を生かして、ご家庭でも積極的に料理を手伝ってほしいなと思います。



厚真町食生活改善推進協議会の皆さん、ありがとうございました！

9月の行事予定

9月18日(火) 誕生会

★保護者の皆さんへ★

雨天時の着替えの用意を再度確認してください！

※6年生の修学旅行に伴い、28日(金)は回復休になります。その際、放課後児童クラブを利用するかどうかを支援員から直接確認させていただきます。

けんちゃんのつぶやき～達成感を感じる体験～

長いようで短かった夏休みが終わりました。ぼくの中で『夏祭り』はとても思い出に残っています。夏祭りを作り上げる過程で、**達成感を得た子どもたちもいること**と思います。『自分の手でゼロから作り上げる』という体験は、なかなかできるものではありません。この体験をとおして、『主体性』を身に付け、『なにもないところから楽しさや喜びを作り出せる子ども』になってほしいなと願う、今日のけんちゃんなのでした。